

○水生生物モニタリング調査結果一覧（真野川D）

<真野川D 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
D-4 a	○	○	○	○	○	○

<真野川D 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
D-4 a	37.7308°	140.9081°	R1.12.4	08:33	08:47	7.1	7.1	砂	2.5Y3/2	なし	0.62	>50		

<真野川D 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
D-4 a	37.7308°	140.9081°	R1.12.4	08:33	7.2	<0.5	2.2	12.1	9.0	0.05	1.1	2	3.2	0.0030	0.040	0.0011

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<真野川D 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)			
D-4 a	37.7308°	140.9081°	R1.12.4	08:47	7.4	401	15.5	1.4	1.6	2.709	68.1	21.4	6.0	3.6	0.9	2.5	9.5	13	170	0.90

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<真野川D 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
D-3	真野川本流	37.7051°	140.9623°	R1.12.3	脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	6	2.0	未成魚/成魚	—	—	24.4	1.4	23	0.11
					脊椎動物	硬骨魚	カサガ	カサガ	<i>Cottus reinii</i>	ウツセミカジカ	1	0.053	未成魚	—	—	13	N.D. (2.9)	13	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	37	1.7	未成魚/成魚	—	—	6.7	N.D. (0.72)	6.7	0.19
D-4 b	真野川本流	37.7312°	140.9096°	R1.12.3	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0094	—	—	—	57	N.D. (3.6)	57	—
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	68	0.043	幼虫	—	—	7.2	N.D. (1.2)	7.2	—
					脊椎動物	硬骨魚	サマメ	サマメ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	2	0.033	未成魚	—	—	12	N.D. (1.5)	12	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サマメ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	1	0.037	未成魚	植物片	内臓除去	26	N.D. (4.5)	26	—
					粗粒状有機物	—	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.23	—	—	—	—	22.3	1.3

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。